



チャレンジする子が育つ理由

～スペイン高校留学報告会～



高校生になると・・・

「行こうかなあ。」

「別に行かなくても..」 「いや.. でも...」

と悩むのが「**高校留学**」

新生くんもそうでした。でも、そこに思い切っ
て飛び込む気になったのは、どうしてかな？

そして、行くと決めて広がって来た世界はどん
な世界だったの？

彼の**体験談** 聞きに来ませんか？

参加無料

要申込み

7月24日(水) 18:30～20:30

広島県民文化センター 第三練習室

ヒッポファミリークラブ西日本

0120-557-761 (受付 平日 10時-16時)

WEBからもお申込み OK

<https://hfcw.jp>





スピーカー（下手新井君（17歳））紹介

2018年9月末からヒッポファミリークラブのイヤーロングプログラム（海外で約一年間、現地の家庭にホームステイしながら現地の学校に通うプログラム。）で、スペインに留学、今年7月3日に帰国しました。

留学するかどうかは、正直迷いました。でも、ヒッポのみんなが背中を押してくれて決断。帰国した今言えることは、「やっぱり行ってよかった。」って事。そして、この一年間は、いろんな意味で僕の人生の自信と力になると確信しています。報告会では、留学準備から留学中の体験、帰ってから今思っている事など、話します。

今、みんなに伝えたい事がたくさんあります。

当日のプログラム

- ★ ヒッポファミリークラブの紹介
- ★ スペイン留学報告
- ★ 送り出した母の話
- ★ 今年高校留学に飛び立つ子供たちの話
- ★ 感想タイム（質疑応答）

ヒッポファミリークラブ

国や人種の違いを超えて、どんなことを話すと人もコミュニケーションでさるようになったら・・・、そんな思いから1981年、多言語（いくつものことば）を、自然習得（母語の習得のプロセス）するヒッポファミリークラブは誕生しました。

本来、人間誰もが「どんなことばでも」「いくつでも」話せるようになる自然のチカラを持っています。世界の半分以上の国では3つ以上のことばが話されています。

ヒッポはそんな国々の「多言語の環境」の中で育ったあかちゃんがいっつの箇かに母語としていくつものことばを習得するのと同じプロセスで、多言語を身につけていきます。

現在は、北海道から沖縄まで日本中で活動が展開され、海外では、アメリカ、メキシコ、韓国、台湾、にも同じような活動が展開されています。

多言語 × 脳科学 専門家も注目！

現在、ヒッポファミリークラブ・東京大学・マツチューセツ工科大学の三者共同研究により、多言語習得の様々な効果が明らかになりました！

たくさんの言語に触れていると頭が良くなるってホント!?



多言語は人の知性を伸ばします。多言語を話す人は注意力・集中力・目標に向かって進む能力が高い。人は何歳になっても、いくつもの言語を習得できるのです。

マツチューセツ工科大学 ササノフリン 教授



「小さい頃から多言語に触れていると…」



東京大学大学院 道井邦嘉 准教授

小さい頃から多言語に触れていると、新しい言語を苦もなく話せるようになります。

外国語習得の大原則は、「自然に (be natural)」言語を取り入れることです。言語を自然に獲得するためには、「教える・教わる」という意識を捨て、文法から脱却することが大切。そのためにも、実は「多言語の環境」が最適なのです！



ヒッポファミリークラブ 西日本

0120-557-761 (受付 平日10時～16時)

ホームページ



facebook



インスタグラム

